

平成 29 年度

港区ごみ減量優良事業者等表彰 受賞者の紹介

受賞者

延床面積 5,000 m²以上

- 品川シーズンテラス
- 三菱東京UFJ銀行芝ビル
- ヤクルト本社ビル

延床面積 1,000 m²以上 5,000 m²未満

- 虎ノ門Aビル

(規模別ビル名五十音順)



港区
リユースキャラクター
リ्यू助



港区
リサイクルキャラクター
エコル

港区は、事業所が集積する都心区という地域特性から、区内から排出されるごみの大部分を「事業系ごみ」が占めるという特徴があります。

「事業系ごみ」の減量を着実に進めるためには、事業者による“ごみの発生抑制”“リサイクル（資源化）への取組”が必要不可欠となっています。

そのため「事業系ごみ」の減量とリサイクルの一層の推進を図るために、平成21年度に「港区ごみ減量優良事業者等表彰制度」を創設し、模範的な取組により、高いリサイクル率を達成するなどの顕著な実績を上げている事業者等を表彰しています。

これらの優良事業者の模範的で優れた取組事例を、区のホームページなどで広く紹介することや、区内事業所への立入指導の際に効果的に活用し、事業者による更なる自主的な取組を促進し、「事業系ごみ」の減量・資源化を図るための一助として役立てていきます。

港 区

品川シーズンテラス

受賞者	品川シーズンテラスビルマネジメント株式会社
建物所在地	港南 1-2-70
延床面積	205,785 m ²



表彰理由

オフィス、物販、飲食店舗等、様々な業種・業態のテナントが入居する大型複合テナントビルにおいて、啓発の工夫や独自のアイデアにより、高レベルなリサイクルシステムが構築されています。



テナントを対象とした館内ツアーやごみ処理場視察会の開催などによりビル全体の意識高揚を図っています。

見た目に分かり易い容器や掲示物により手元分別を推進しています。



受賞者の声

品川シーズンテラスは2015年に竣工した、地上32階、延床面積約20万 m²のオフィスと商業フロアからなる大規模複合ビルで、在館人員は約14,000人、館内利用人数は1日平均約30,000名にもなります。また、約3.5haの緑地が隣接しており、そこで多数のイベントや撮影が実施されているのも特徴であります。

ごみ減量に関して、我々はリサイクル率向上の為、以下の取組を実施しております。

- 1 3重の分別状況チェック体制の構築（管理事務所/クリーンセンター/リサイクルセンター）
- 2 入居前説明会の実施（写真付ごみ分別表配布、ごみ箱レイアウト提案、ビル廃棄物処理場ツアー実施）
- 3 清掃スタッフによる各テナントに対するゴミ分別状況の積極的チェックを実施（直接分別啓発、相談窓口を設置）
- 4 テナントのゴミに対する排出処分を明確化（ゴミ袋にフロア/テナント名を記入100g単位の正確な計量）
- 5 全テナント参加型省資源会議の定期実施、入居テナント専用イントラサイトへの情報掲載（ビルリサイクル率・及び分別ルール・リサイクルフォロー等の周知）
- 6 ごみ処理場視察会実施（年1回）
- 7 近隣地域を巻き込んだ地域清掃活動の実施（月1回）
- 8 食品廃棄物の肥料化（テナント/地域住民への一部配布）

以上のこれまでの取組みを高くご評価いただき、選出いただきました関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。今回の受賞を励みに、引き続きテナント様・ビルスタッフと協力しながら、リサイクル率向上に向けた上記取組等を推進し、循環型社会の形成に貢献できるよう努力してまいります。

三菱東京UFJ 銀行芝ビル

受賞者	東洋ビルメンテナンス株式会社
建物所在地	芝2-4-3
延床面積	34,722 m ²



表彰理由

スケルトン容器の設置や、容器ごとに捨てられるものを写真で掲示するなど、分別が適切に行われるための工夫により手元分別を推進し、高いリサイクル率を達成しています。



スケルトンの容器を採用し、排出状況が一目でわかる工夫をしています。

イラストや写真を多用した掲示物により、捨てる人が迷わないように工夫しています。



受賞者の声

三菱東京UFJ銀行芝ビルは1979年9月に竣工した、地上8階・塔屋2階、地下2階建てで、地下1階にごみ集積場を有するオフィスビルです。

現在は三菱東京UFJ銀行部署とその関連会社社員で約1,800名が勤務しています。

芝ビルは次の3点に取り組み、ごみ減量とリサイクル率アップに活動しています。

- (1) 各階及び各執務室のごみ回収コーナーに、スケルトンのごみ回収容器を採用して、分別して捨てられているかどうか、分かるようにしたため、捨てる人も回収容器に入れ違いが少なくなりました。
- (2) 更に、芝ビルにおける分別回収のルール表を各執務室のごみ回収コーナーに掲示。また、ごみ回収容器ごとにそれぞれ捨てられる物の写真掲示して明確化を図り分別を促している。これらにより毎日、ごみ収集しての分別作業も殆ど不要になりました。
- (3) 毎月1回の芝ビル連絡会や食堂定例会で、ごみの減量と分別の協力依頼や情報交換などにより、ごみの減量と分別化によるリサイクル率アップを推し進めています。

今回、この受賞を励みに引続きごみ減量化やリサイクル率アップと経費削減に取り組んで参ります。

ヤクルト 本社ビル

受賞者	株式会社ヤクルト本社
建物所在地	東新橋 1-1-19
延床面積	11,282 m ²



表彰理由

CSR本店推進委員会を中心とした全社的な環境保全活動や、積極的な食品リサイクルの取組など、社員一丸となったごみ減量・リサイクル推進の取組が行われています。



食堂利用時の分別ルールを掲示し、分別排出の意識向上を図っています。

紙の発生抑制を呼び掛けるポスターを作成し、リデュースを推進しています。



受賞者の声

ヤクルト本社ビルは、1972年に竣工した地上14階(多目的ホール1～5階・オフィスフロア6～14階)、地下2階建てで、約700名の社員が勤務しております。

当社では、環境保全への取り組みの一環として、廃棄物排出の減量や再資源化率向上を推進するため、以下の点を重点的に取り組んでいます。

1. 廃棄物の分別への取り組み

適切にゴミが廃棄されるよう、各フロアに以下の種類別にゴミ箱を用意しております。誰でもわかりやすく適正な分別ができるよう、写真・イラスト付きの分別表を掲示することで、廃棄物の再資源化率向上に努めています。

・可燃物 ・プラ、不燃物 ・缶 ・ビン ・ペットボトル ・ヤクルト容器 ・生ゴミ ・リサイクルボックス(紙類)

また、併設されている社員食堂・レストランでは、食品残渣を肥料として再資源化するため、各社員が食品残渣を廃棄する際、適切に分別するための取り組みも行っています。

2. 書類(印刷枚数)削減への取り組み

廃棄物の中でも特に紙類の排出割合が高いため、会議・打ち合わせ等で使用する書類自体の削減や印刷枚数の削減に力を入れています。IT機器導入によるペーパーレス会議の推進をはじめ、両面印刷、ミスコピーを活用した裏紙印刷やNアップ印刷を積極的に活用しています。また、コピー機の前に印刷枚数の具体的な削減方法を掲示するなど、印刷枚数の削減に取り組み、廃棄物排出の減量に努めています。

3. 取り組み実績の掲示

当ビル内での取り組みを見える化するため、その実績推移を毎月社内ウェブ上に公開することで、目標値に対する進捗を各社員が確認できるようにし、環境保全への参画・改善意識を持ってもらうよう取り組んでいます。

実績は、「廃棄物の排出量・再資源化率」、「印刷用紙の使用量」だけでなく、「電力使用量」、「事務用品の購入金額」についても公開しています。

4. 定期的なeラーニング学習による意識啓発

当ビル内での活動についての情報共有に加え、環境保全のための活動について繰り返し学習し、周知徹底するようeラーニング学習を実施しています。

以上の取り組みのように、社員が自主性をもって、自発的に行動を起こすことが環境保全にとって重要になると考えています。

今回の受賞を励みに、今後も環境保全に向けた様々な働きかけ・動機付けにつながる取り組みを推進してまいります。

虎ノ門Aビル

受 賞 者	森ビル株式会社
建 物 所 在 地	虎ノ門 3-4-8
延 床 面 積	1,973 ㎡



表彰理由

オリジナルのリサイクルハンドブックや、見た目に分かり易い容器・掲示物などを活用し、高レベルな分別体制が構築されています。



ごみや資源を15品目まで細分化するとともに、最終処理工程がわかる掲示物を作成し、分別の意識向上を図っています。

掲示物に対応した容器を各フロアに設置し、手元分別を推進しています。



受賞者の声

虎ノ門Aビルは、2006年に竣工した地上4階建てのオフィスビルです。

現在、1社約200名のオフィスワーカーが勤務しております。当ビルでは、2010年より3R活動をスタートし、分別によるゴミ減量及び資源化を推進することで、管理者だけでなくお客様にも分別を意識して行ってもらえる様に日々工夫しながら取り組んでいます。

例えば、入居時に館内のゴミ分別方法が明記しているリサイクルハンドブックの配布を行い、各分別容器ごとも分かりやすく分別方法を掲示することにより、お客様自身でゴミ発生時に細かく分別していただける様にしております。

また、清掃係員が回収する際にも燃やすゴミの中にリサイクル出来る紙ゴミが混在している場合は再度分別し、回収。その後、管理者とお客様で現状を随時確認し、分別状況の改善に努めています。

以上のような取り組みを実施してきたことで、毎年リサイクル率が向上しております。

今後は、燃やすゴミとして捨てられたゴミの中に多く紛れ込んでいる紙ゴミの分別精度を向上させ、回収した紙ゴミを100%リサイクルすることで、全体のリサイクル率の大幅アップを目指してまいります。

これまでの受賞者一覧

年度	規模	建築物名称
21	5,000㎡以上	佐 鳥 ビ ル
		汐 留 シ テ ィ セ ン タ ー
		田 町 セ ン タ ー ビ ル ピ ア タ 会
22	5,000㎡以上	商 船 三 井 ビ ル デ ィ ン グ
		世 界 貿 易 セ ン タ ー ビ ル デ ィ ン グ
		第 一 ホ テ ル 東 京
		虎 ノ 門 3 7 森 ビ ル
		フ ジ テ レ ビ 本 社 ビ ル
23	5,000㎡以上	シ ー バ ン ス S 館
	1,000㎡以上 5,000㎡未満	ハ ウ ス オ ブ ロ ー ゼ ビ ル
24	5,000㎡以上	キヤノン電子株式会社 東京本社ビル
		独 立 行 政 法 人 国 立 印 刷 局
		サ ン ト リ ー ビ ル
	1,000㎡以上 5,000㎡未満	株 式 会 社 廣 済 堂 印 刷 本 社 ビ ル
		トヨタ部品東京共販株式会社本社
25	5,000㎡以上	赤 坂 榎 坂 森 ビ ル
		第 一 田 町 ビ ル
		パ ナ ソ ニ ッ ク 東 京 汐 留 ビ ル
		三 井 住 友 信 託 銀 行 芝 ビ ル
	1,000㎡以上 5,000㎡未満	ア イ ネ ス 赤 坂 ビ ル
		ハ 洲 ビ ル

年度	規模	建築物名称
26	5,000㎡以上	伊藤忠商事株式会社東京本社ビル
		ホ ン ダ 青 山 ビ ル
		三 菱 U F J 信 託 銀 行 港 南 ビ ル
	1,000㎡以上 5,000㎡未満	大和ライフネクスト株式会社本社ビル
27	5,000㎡以上	NBF プ ラ チ ナ タ ワ ー
		J R 品 川 イ ー ス ト ビ ル
		新 日 鉄 興 和 不 動 産 本 社 ビ ル
		虎 ノ 門 2 丁 目 タ ワ ー
	1,000㎡以上 5,000㎡未満	中 野 ビ ル
28	5,000㎡以上	S M E 乃 木 坂 ビ ル
		東 京 都 立 芝 商 業 高 等 学 校
		日 立 ハ イ テ ク ビ ル デ ィ ン グ

(年度別 / 規模別 / 五十音順)

受賞者の皆様の取組については、
港区公式ホームページをご覧ください！
以下の場所に取組内容をまとめた
リーフレットが掲載されています。

- ★ホーム ★暮らし・手続き
- ★ごみ・リサイクル ★事業者の方
- ★事業用大規模建築物(延床面積1,000㎡以上)
の所有者及び事業者の皆さんへ



発行 港区環境リサイクル支援部 みなとりサイクル清掃事務所

〒108-0075 港区港南3-9-59 TEL (3450) 8025

平成 30 年 3 月発行

発行番号 29308 - 5651



この印刷物は環境に配慮し、古紙配合率 100%再生紙
及び大豆インキを使用しています